

学習費につき込んでるのに

子どもの学力

が低い

お茶の水女子大研究成果

家庭の特徴



学力格差は**幼児期**から始まるか？  
——経済格差を超える要因の検討——

執筆者

**内田 伸子**

お茶の水女子大学教授

# 注目しておきたい点

## 「強制型しつけ」

大人中心のトップダウンのしつけや  
力のしつけで子どもを**従わせる**。

高所得者層の  
家庭にも多い

# 「強制型しつけ」

- 子どもは白紙で生まれてくる。だから、子どもをしつけるのは親の役目。
- 自分の思い通りに子どもを育てたい。
- 子どもが言う事を聞かなければ、罰を与えるのは当然。
- 子どもが親の言うことをきかなければわかるまでガミガミと責め立てる。

**低所得層**で強制型しつけを受けても

語彙得点に**関連はない**が、

**高所得層**で強制型しつけを受けると

語彙得点が**低くなる**。

対象：5歳児1,000名





小学校1年の3学期まで

**追跡調査**した結果

# 国語の学力と語彙力

家庭の収入は

子どもの学力と**関連はない**。

強制型しつけを受けた

子どもの学力は**低かった**。

# 「強制型しつけ」 母子のコミュニケーション

- 禁止や命令が多い。
- 情緒的サポートは皆無。
- 考える余地を与えないトップダウンの介入を行う



# 「強制型しつけ」母子のコミュニケーション

「わたし、これからやろうかな」

「いや、それ難しいわよ。まずこれをやって、次にこれをやりなさい」



自分の思いを前面に出し、母親の側でレールを敷いて、走らせようとする姿が目立った。

# 「強制型しつけ」母子のコミュニケーション

絵本を読み聞かせたあとで

「さ、今のお話、どういうお話だった？  
言ってごらん」

「違うじゃない、ママはそんなこと言っ  
てないわよ。ほら、このページ。読ん  
でごらん。よく聴いてないんだから！」

と「勝ち負けのことば」を連発する。

